



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№32

令和4年3月14日

防災学習を実施しました

3月11日(金)に、鈴鹿市内全小中学校において防災学習が実施されました。平成23年3月11日に起こった東日本大震災を風化させないために、被災した人たちの思いを知るとともに、自分たちの地域の特性を学び、南海トラフ地震に対してどのような備えが必要か考えるなど、防災意識を高めるのが目的です。



本校では、2限後に全校で、地震発生を想定した避難訓練を行いました。放送を聞いて、静かに素早く行動できていました。また、それぞれの学年・学級において、防災ノート、東日本大震災に関連した資料(DVD、ワークシート)などを活用した学習を行いました。津波避難の原則「より早く」、「より遠く」を強く心に刻みました。



6年生 中学校の先生による出前授業

3月10日(木)3限目に、千代崎中学校の池田先生と山田先生、大木中学校の西村校長先生、山際先生、横山先生に來校いただき、出前授業を行いました。千代崎中学校へ進む児童は、教室で池田先生から英語の授業を受けました。中学校で自分が入りたい部活動について英語で積極的に発表できていて、発音もよかったです。



また、中学校の部活動で聞きたいことを質問しました。大木中学校へ進む児童が集まった体育館では、山際先生から中学校の学習や生活について簡単な説明を受けました。

ペアでじゃんけんをして3回勝てば、先生に自己紹介するアイスブレイキングの後、3、4名のグループでバドミントンのシャトルを取り合う運動に熱心に取り組む姿がみられました。



中学校へ進むことは不安もありますが、新しい出会いがあります。大きな夢と希望をもって進んでほしいと思います。

6年生を送る会

感謝

3月3日(木) 2.3限目に、6年生を送る会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、学年部の発表を入れ替え制で時間を決めて行いました。体育館で発表をしない学年は、教室に待機してオンラインで他学年の発表を楽しみました。また、6年生保護者の参観を中止させていただきました。内容の変更はありましたが、みんなが一生懸命取り組み、心温まる送る会をつくり上げることができました。特に5年生は、6年生に感謝の気持ちを伝えるために、計画から準備、運営を立派にやり遂げてくれました。



6年生



キャンドルセレモニー



退場

学年部発表は、1, 2年生がダンス

「ツバメ」、3, 4年生がダンス「夜に駆ける」を行いました。2つともしっかり練習ができていて、心がこもったすばらしい発表でした。

お礼に6年生から、感謝の言葉と、ぞうきんのプレゼントがありました。

キャンドルセレモニーでは、5年生が6年生から「協力の火」、「絆の火」、「責任の火」をしっかり受け継ぎ、若松小学校をさらによくしてい

くことを誓いました。そして、6年生が、5年生が花のアーチでつくった道を通って退場していきました。6年生の皆さんありがとう。中学校へ行ってがんばってください。



入場

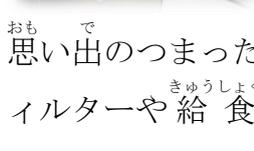


1, 2年生



3, 4年生

6年生 奉仕作業



3月11日(金) 5.6限、卒業の前に6年生が奉仕作業をしました。お世話になった学校に、自分たちにできることは何かを考

え行動に移してくれたのです。6年間いっぱい思い出のつまった学校に対して、体育館の側溝の清掃、エアコンフィルターや給食台の汚れ落とし、階段の窓のクモの巣除去などをしてくれました。みんなが、一生懸命に働

いて、きれいにしてくれました。ありがとう。周りの人たちに対しても、何ができるか考え、行動に移してほしいと思います。

